



To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2012年1月No.356

Chartered July 20, 1982

| 主 題 Y's THEME (2011~2012)  | クラブ役員 Officers   |
|--|--|
| センテニアルクラブ会長 : 『TEAM - 共にさらなる目標を目指そう!』<br>東京セントラルクラブ会長 : 『ひとつとなつてYMCAへ』<br>国際会長 : 『とにかくやろう-成せば成る』<br>アジア地域会長 : 『信念をもって使命を果たそう』<br>西日本区理事 : 『飛翔たとう ワイズスピリットを胸に』<br>中西部部長 : 『であいで愛』 | 会 長 : 谷川 寛<br>副会長 : 岡本 剛介<br>書 記 : 石津 雅人<br>会 計 : 藤原 正巳<br>メネット会長 : 谷川 有美子<br>Y連絡職員 : 鍛治田 千文 |

## Biblical Message of January

イエスは言われた、「手をすきにかけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくないものである」

(ルカによる福音書 9章 62節)

### 新年雑感「リーダーと使命感」

藤原正巳

・先日久しぶりに昔馴染みの韓国の女性実業家に会いました。昔から活力溢れる彼女でしたが、今回は一段と元気で、自信に満ちていました。その根源は韓国企業の国際市場での躍進です。サムスン電子は今や日本の電機メーカーが束になっても敵わない収益力の高さを誇り、ヒュンデ自動車は米国市場ではホンダや日産を抜く勢いです。これには様々な原因がありますが、私は根本的には国家や企業リーダーの未来を見据えた優れた指導力と決断力にあると考えています。

・リーダーの基本的な条件は Mission(使命感)、Vision(洞察力)及び Passion(情熱)の3要素に集約できます。このいずれが欠けてもリーダーとしては不十分ですが、中でも私は「情熱」が最も重要だと思っています。国家や企業に対する熱い思い以上のエンジンはありません。これはワイズとて同じことです。このエンジンを突き動かすものが使命感です。明治維新の大変革期にはこの使命感に溢れた人材が各方面で輩出しました。政治、経済、社会などあらゆる面で閉塞感の漂う昨今の日本ですが、今年こそ情熱と使命感に溢れたリーダーの出現を願うことしきりです。

次号は山中ちあきさんです

## January Club Meeting

『IBC/DBC』

### 1月第1例会(中西部合同新年会)

日時: 2012年1月14日(水) 14:00~16:50

場所: ホテルグランヴィア大阪 20階「名庭の間」

【第1部】式典 14:00~14:30 司会: 中村 茂高君

1.開会宣言・点鐘 中西部部長 清水 誠治郎君

2.聖書朗読・開会祈祷 当クラブ会長 谷川 寛君

3.ワイズソング・讃美歌 一同

4.年頭挨拶と来賓祝辞 中西部部長ほか

【第2部】“新春を寿ぐ” 14:30~15:00

5.出演 大阪府立東住吉高校・芸能文化科の生徒たち

演目: 箏曲「飛躍」、長唄「元禄花見踊」ほか

【第3部】祝宴 15:00~16:50 司会: 井上 文輔君

6.食前感謝 大阪YMCA 中西部連絡主事 内田 弘志君

7.乾杯/会食・歓談 一同

8.クラブ紹介 各クラブ

9.アピールタイム 各クラブ

10.感謝のこぼれ 新年会実行委員長 松浦 孝次君

11.閉会宣言・点鐘 次期中西部部長 江見 淑子君

### 1月第2例会

日時: 2012年1月25日(水) 18:30~20:30

場所: 土佐堀YMCA会館4階

1月のお誕生日

大畑都子、岡本剛介、中村隆幸の各メン、メネット

例会担当

3班: 石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

## 【クラブ統計 Statistics】

| 11年12月    | 種 別   | 第1例会 | 第2例会 | BFポイント   | ニコニコ/じゃら献金   |
|-----------|-------|------|------|----------|--------------|
| 在籍会員 23名  | メ ン   | 17名  | 11名  | 12月 150g | 12月: 0円      |
| 例会出席 19名  | メネット  | 10名  | 0名   | 現 金 0円   |              |
| うちメーキャップ  | ビジター  | 0名   | 0名   | 累 計      | 累 計: 87,614円 |
| 2名        | ゲ ス ト | 4名   | 0名   | 切 手 684g |              |
| 出席率 82.6% | 合 計   | 31名  | 11名  | 現 金 0円   |              |

## 11月第2例会

と き：12月14日(水) 18:30~20:30

ところ：大阪YMCA土佐堀会館 406号

出席者：石津、井上、大村、岡本、新保、谷川、中村<sup>茂</sup>、  
中村<sup>隆</sup>、藤原、松浦、山田の各メン

### 協議内容

1. 国際役員選挙 = 会長一任。
2. 大阪高槻クラブ30周年は来年4月15日開催。
3. 京都プリンスクラブ25周年は来年2月25日開催。
4. 中西部合同新年会打合せ
5. 次期役員キャビネット候補リスト検討。
6. 規約改正の最終変更確認。
7. わがクラブのリーフレットの修正。
8. メルマガの執筆は、リレー方式でつなく。

(中村 茂高)

## YMCAニュース

自立支援シンポジウム(サポートクラス15周年)  
LD(学習障害)及びその周辺児を対象としたサポート  
クラスは今年度15周年となります。それを記念して下記の  
通りシンポジウムを行います。

日 時 2月4日(土)12:30~17:30

テーマ 特別支援教育の移り変わりと今後を見据えて

### 基調講演

「子どもの成長に合わせた支援とは~家庭や学校で時  
期に合わせて育みたい内容~」杉山登志郎氏・浜松医科大学  
学児童青年期精神医学講座特任教授

### シンポジウム

「特別支援教育の移り変わりと今後を見据えて~大阪Y  
MCAの役割とは~」竹田契一氏・藤井茂樹氏・太田信子  
氏・鍛治田千文

### 表コミ・ニュース

12月に2年生の演劇公演がありました。その前に保護  
者会があったのですが、あるお母さんが「子どもに見るな  
と言われたのでこのまま帰ります」とのこと。「真っ暗な  
ので遅れて入ったらわからないし、早めに出られたら大丈  
夫ですよ」とお薦めしたのですが「これで人間関係が崩れ  
たらいけないし、このように真面目すぎる自分に似たあの  
子も真面目です。それであの子も苦労してるのがいっば  
いあると思います・・・でも絶対に卒業公演は親の責任と  
して見ますから」とお母さん。後姿を見送りながら、帰り  
道、泣いてらっしゃるのではと胸が痛みました。中学時代  
全く学校に行かなかった彼は表コミでは皆勤。大変仲の良い  
親子なのに「見ないで」というのはどういう気持ちなの  
だろう。親は子どもがうまくいなくても、ただその子が  
そこにいるだけで十分なのに・・・と思ったできごとでし  
た。

(鍛治田 千文)



センテニアルクラブ命名のヒントになったプリンス・エドワ  
ード島を舞台に繰り広げられた「赤毛のアン」の文章は聖書、  
古今東西の古典からの引用が多く、読む都度に新しい発見が  
ある。アンは聖母マリヤの英語名、養母のマリラは珍しいで  
すが、マリヤの変形名です。マリラは独身のまま活発な光の  
子、アンを授かります。処女懐胎した聖母マリヤと重ね合わ  
せられているとも言われています。他に小説の登場人物マン  
シュー、レイチェル、アン<sup>の</sup>成長に深く関わった人名は殆ど聖  
書から採られています。マリラの大事にしていたブローチが  
無くなり、アンに疑いを懸け、正直に言う迄出さないと2階  
に閉じ込めますが、思わぬ所から出てきて深刻に反省します。  
キリスト教の要である隣人愛の実践から、アンを引取りなが  
ら迷いを生じ、振り返りアン<sup>の</sup>心を傷つけて仕舞ったのです。  
今後は神の国に相応しく、アンを信じて育てようと決意を新  
たにするのです。

聖句選/コメント：山中 秀男

(今回は、谷川 寛さんです)

## 12月第1例会

と き：12月21日(水) 18:45~21:00

ところ：ホテルグランヴィア大阪 20階「鶴寿の間」

今年、セントラルクラブ、ヴェクセルクラブの3クラブ合  
同クリスマス例会を、総勢51名と盛大な例会になりました。  
「バックウッズ・マウンテニアズ」5名のメンバーとセント  
ラルクラブのゲスト1名、ヴェクセルクラブのゲスト5名が、  
参加して頂きました。谷川会長の点鐘に始まり、セントラルク  
ラブの伊藤みどりさんから  
「関西生命線」が子育て支援  
功労者内閣府特命担当大臣  
表彰の受賞報告がありまし  
た。

ヴェクセルクラブ松本会  
長の乾杯で晚餐に入り、食事  
の後、「バックウッズ・マ  
ウンテニアズ」のブルーグラスの演奏をたっぷり1時間、聴  
かせていただきました。クリスマスソングの「聖しこの夜」と  
「ジングルベル」をメンバーの演奏でメンとメネットがマイク  
の前で斉唱し、クリスマスの気分をたっぷり味わい、皆さんの  
拍手が鳴りやみませんでした。



伊藤みどりワイス



バックウッズ・マウンテニアズの皆さん

また、「バックウッズ・マウンテニアズ」のCD売り上げ  
24,000円を「大阪YMCAクリスマス献金」に頂き感謝いた  
します。セントラルクラブ入江会長の閉会点鐘で楽しかった合  
同クリスマス例会を終えました。

(大村 肇)

センテニアル創立9年目の夏、私達は香港の真っ青な空の下にいました。

そこに集めた香港・ハワイ・大阪の数十名は、締結式に臨むに当たり誰も胸熱くなっていたはず。藤原メン（その時初めてお会いした）谷川メンを中心に周到なご準備のもと、格調高いセレモニーの心地よさを肌で感じながら、稀有な体験をしているのだと思うと、掛替えのない行事と日程を私達は十分に楽しもうとしていました。香港の女性メンバーには姉御肌の中に頼もしさ、優しさを感じ、ハワイの皆さんのホスピタリティはあの時から今も変わりません。



ハーバークルーズも街中散策も、ライトグリーンで CENTENNIAL とロゴの入ったお揃いの白いTシャツを着て出かけるのは誇らしく、楽しく、時の経つのを忘れませんでした。しかし、私、本当のところは、奈良の夫の実家に預けてきた2人の娘のことが気になって仕方ありませんでした。

1991年の香港は、日本よりずっと、ケータイ電話が普及していて、まだまだ大きめの機種で、早口の大声で話しながら歩いているビジネスマンの様子は、騒がしく異様に見えました。エスカレーターの速度はあり得ないと感じたほど速く、危険だろうと思っていた矢先、夜数人で帰る途中、案の定、一度に転びました。しかし、皆若かった。黒田メンと私が特に派手に転んでしまいましたが、さっと起き上がっては、皆と大いに笑い合いました。



BROTHERS and SISTERS の契りを幸せと思う純粹さ、あの時のセンテニアルのメンバーとして志の純粹さを懐かしく思い出しています。



「会長の TITBIT (一言)」

谷川 寛

現在、世界の何カ国にワイズがあると思いますか？ワイズ IHQ の西村さんからの情報では、現在 73 カ国にワイズクラブがあることになっていますが、現実には one member club といって、会員が一人しかいないクラブもあるそうです。その区の理事の決断で、Defunct（消滅）としてほしいクラブがたくさんあるようです。従って、実際に活動している国の数はもっと減るでしょう。世界で一番会員数の多い地域は、インドで、10,438名、アジアが9,641名（韓国を含む）で2番目、アメリカは、1,634名です。最近、韓国はアジアから独立して、韓国地域になりました。世界のワイズの数、30,000人弱です。

12月BF報告

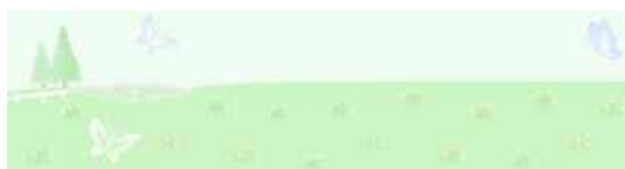
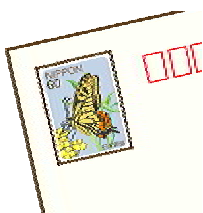
石津メン(150g) 合計150g

Club Activities (November ,2011)

On December 21, the joint Christmas dinner meeting with the Osaka Central Club and the Osaka Vexel Club was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 50 Y's men, Y's menettes, Y's lings and guests in attendance.

Ms. MIDORI ITOH, representative of the Kansai Life Line, reported their service activities at the devastated area hit by the Great East Japan Earthquake & Tsunami on March 11, 2011. At the fellowship hour after the dinner, we enjoyed skillful music performance by "Backwoods Mountaineers Quintet" led by Mr. MITSUO SHIBATA, our club member.

They played mostly Bluegrass music, together with Christmas songs and oldies, using banjo, guitar, flat mandolin, contrabass and violin. Yen 28,000 was collected by selling music CDs of the Band at the meeting and it was all donated to the Osaka YMCA's Christmas Fundraising campaign.





## ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

### 会員からのメッセージ

3クラブ合同のクリスマス例会、賑やかで楽しい時間が過ぎたことに感謝いたします。(石津 雅人)

家族で参加させて頂き楽しいクリスマス例会を過ごせました。また、来年も家族で例会に来たいなと思いました。楽しい音楽本当に有難うございました。(井上 文輔)

関西生命線さんが大臣表彰を受けたというお話を聞き、地味な努力が実を結んだお話として非常に勇気付けられました。

また、今年もバックウッズ・マウンテニアーズさんの心地よい音楽を楽しませて頂きありがとうございました。(大畑 慎治)

3回目のクリスマス例会参加です。年々、楽しくなってきました。去年はバンド、今年も「バンド+メネット」参加、来年はどんなクリスマス例会になるでしょうか！皆さんお楽しみに！

(岡本 剛介)

初めてのクリスマス例会楽しかったです。(岡本 麗香)

すてきな音楽を聴けて楽しいクリスマスでした。

(鍛冶田 千文)

楽しいXmas例会でした。年に一度のバックウッズ・マウンテニアーズ演奏、いいですね～！

(坂本 千春)

2012年は世界中の人々にとって良い年になりますように！

(坂本 哲朗)

賑やかで楽しいクリスマス例会有難うございました。

(隅田 恵子)

他クラブとの合同例会は新しい顔々との又親しいお顔との再会がありとても楽しいです。バンド演奏はその楽しさを倍増させて下さいました。

(谷川 有美子)

素晴らしいカントリーウエスタンを聞かせて頂き有難うございました。久しぶりにクリスマス例会に出席し昔のセンチタルを思い出しました。

(中村 隆幸)

田中メン、山村メネット例会でお待ちしています。

(中村 幸枝)

今日は一足早いクリスマスを楽しみ過ごすことが出来ました。この一年色々の悲しいことが多い年でしたが新しい年を元気に希望を持って歩みたいと思います。(福永 義彦・滋子)

3クラブ合同の楽しいクリスマス例会となりました。芝田さんのバンド本当に賑やかで楽しいひと時でした。来年は若い岡本君が会長となられセンチタルも益々充実したクラブとなると楽しみにしております。

(藤原 正巳)

バックウッズマウンテニアーズの演奏は1年ぶりだが良かったです。3クラブの楽しい合同例会に感謝！来年の中西部合同新年会、盛会になることを心から祈っています。(松浦 孝次)

楽しい演奏を聞きながら楽しいクリスマス例会でした。有難うございます。(松浦 和子)

センチタル、セントラル、ヴェクセル3クラブ合同のクリスマス例会盛大で良かったです。バックウッズ・マウンテニアーズのウエスタンカントリー楽しかったです。(三浦 直之)

賑やかにリズムックに例会の空気を盛り上げて下さったバンドの皆さんに感謝！！年齢を忘れて楽しんでいます。ありがとう.....(山田 孝彦)

芝田光雄さん率いるバックウッズマウンテニアーズ益々円熟を増し、コミック要素も入れエンターテイメント万点、バンドメンバーに感謝(山中 秀男)

山村利子さま、お元気になってお目にかかれるのを楽しみにしています。(山中 ちあき)

山田 孝彦

山中 秀男

山中 ちあき



## クリスマス合同例会の写真



「聖しこの夜」と「ジングルベル」を熱唱しました



8月に結婚された岡本ご夫妻を祝福しました



バイドリーダーの芝田光雄ワイズ

### 後記

昨年は、震災、原発事故、世界的経済不調と、問題山積の1年でした。しかし新しい年を迎えると、どこかに希望の光がさすように感じられます。

年末、秋山好古、真之兄弟、正岡子規を通して日露戦争の明治を描いた、NHKのスペシャルドラマ「坂の上の雲」をごらんになった方も多いかと思います。司馬遼太郎の名作中の名作で、私も長く映像化されることを望んでいた一人です。この作品は司馬が準備に5年、執筆に4年3カ月、書き終えたときは49歳を数日過ぎ、ほぼ40代はこの作品に費やしたと聞きます。作品は2009年から3年にわたり放送されました。

司馬は「のぼってゆく坂の上の青い天に、もし一朵(だ)の白い雲がかがやいているとすれば、そののみを見つめて坂をのぼってゆく」日本史上類のない幸福な楽道家たちの物語とし、もし自分が属している国家という環境に、前途にかがやきを感じることができなければ、精神の重心が保てないだろうとも述べます。

戦後、兄好古は陸軍大将にまでのぼりつめますが、その後故郷の北予中学校の校長になり、病没するまでその職を続けたようです。強靱な背骨をもつ好古の性格に、明治のよき日本人の理想の姿をみるような気がします。

(中村 茂高)